

平成 24 年度 医動物・種類同定検査のまとめ (7~9 月)

医動物担当では、市民、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。平成 24 年 7 月から 9 月の種類同定検査件数は、昆虫類が 8 件(ハエ目 1 件、ハチ目 2 件、コウチュウ目 3 件、チョウ目 1 件、シロアリ目 1 件)、その他 1 件(蟻道)で合計 9 件でした。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
隣の畑から甲虫が多数発生する	 成虫、褐色、約 8mm	マルガタゴミムシ属の一種 (コウチュウ目オサムシ科)	成虫は 3 月~11 月に出現する。草地、畑地、河原などの平地に生息する。植物や小昆虫を食する。北海道、本州、四国、九州に分布する。
私道の一部からハチが飛び出す	 成虫、黒色、約 9mm	コハナバチの一種 (ハチ目コハナバチ科)	小型のハナバチで、成虫の体長は 7~10mm。体色は黒色。コガタノシロスジコハナバチ、シロスジコハナバチなどの成虫は春~秋に出現する。日当たりのよい場所の地中に営巣する。北海道、本州、四国、九州に分布する。
玄関にアリが発生	 成虫、黒褐色、約 3mm	トビイロケアリ (ハチ目ヤマアリ亜科)	巣は、土中や朽木の中に作られる。平地から山地の草地や林に広く生息する。日本全土に分布する。
シロアリが飛来する	 有翅虫、茶褐色、約 7mm	イエシロアリ (シロアリ目ミノガシラシロアリ科)	地中に営巣し、蟻道を作り建物や木材、樹木を加害する。最も被害の激しい種類。関東以西の海岸線に沿った温暖な地域に生息する。
家屋の壁に多数の虫が発生	 成虫、銅褐色、9mm	トウキョウハンミョウ (コウチュウ目ハンミョウ科)	幼虫は地表に穴を掘り、アリやクモなどの小昆虫を捕食する。成虫は 6~8 月に出現する。空き地や路上で見られる。本州、九州に分布する。
玄関横の収納庫周辺に多数の虫が発生	 成虫、銅褐色、9mm		

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
新築マンションの外通路および階段にみられる	 <p>雄成虫、灰褐色、約6mm</p>	ヒメイエバエ (ハエ目イエバエ科)	小型のハエで、早春から発生する。成虫は、屋内に侵入し、輪舞する。幼虫は動植物製の腐敗物、動物の排泄物、生ゴミなどに発生する。日本全土に分布する。
玄関の縁(木製)に幼虫が付着	 <p>幼虫、黒褐色、約6mm</p>	ヤネホソバ (チョウ目ヒトリガ科)	背面の瘤起には沢山の毒棘がある。刺されると、痛く、発疹ができる。関東地方では年3回の発生で、蛹で越冬する。幼虫は屋根瓦や板塀などに生じた苔類に発生する。本州以南に分布する。
1階天井裏に木材の破片と蟻道のような物がみられた	 <p>土の塊</p>	シロアリ類の蟻道	シロアリ類は、土、木材成分、シロアリ類の排泄物と分泌物などで蟻道を造る。木片に付着していた土の中に、シロアリ類の大腸(上顎)が数個認められた。なお、虫体は認められなかった。

【 検査研究課 医動物担当 】